

パフォーマンス課題 設計シート

小学校 () 年 単元名「 」 全 () 時間

【本質的な問い（単元を貫く問い）】 ※たくさん挙げましょう。 (例) 体積はなぜ必要か。のように、「～とは何か?」「～するにはどうしたらよいか?」という書き方で。		【永続的理解（問いの答え）】 ※問いに対応して記入しましょう。 (例) 体積は容量を比べるために必要。	
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
【パフォーマンス課題】			
6つの要素を満たすことが推奨されています。 足りない場合は補いましょう。			
目的(Goal) 学習者が何を達成すべきか、その学習の根本的な目的を明確にする。 (例)算数の知識を使って母を説得する。	状況(Situation) 学んだ知識や技能が活用される具体的な状況や文脈を設定する。(例)キャリーケースの容量を計算する際に、柱の体積を求める。	役割(Role) 学習者がどのような役割を担い、どのような状況を想定するかを定める。(例)ほしいキャリーケースを買ってもらう子ども。	成果物(Product) 学習活動の成果として、どのような作品や実演(生成物)が生み出されるのかを具体的に示す。(例)母への説明の式、値、言葉。ワークシートで。
相手(Audience) 対象となる相手が誰なのかを明確にし、実際のコミュニケーション場面を想定する。(例)キャリーケースの容量を気にする母	評価の観点(Standard, Criteria) 学習活動の成果として、どのような作品や実演が生み出されるのかを具体的に示す。(例)説明のための方針を立て正確に計算し分かりやすく説明できる。		
ループリック評価 ※はじめにBの基準を明確にすることが必要です。 ※最大3つの観点到に分けましょう。			
観点 レベル	(例) 問題発見・状況把握力 (どうやって求めるか)	(例) 数学的処理の正確さ (正確に計算できるか)	(例) 論理的思考力・表現力 (分かりやすい説明か)
A 卓越 (B以上の成果)			
B 十分			
C 不十分			
【B評価模範解答】 ※B(十分)に相当するもの記入してください。観点到ごとに記入すると評価がしやすいです。			

- Check!
- 本質的な問いと永続的理解に対応している課題となっているか。
 - 学習者にとって現実的な課題になったか(真正性)。
 - 測りたい学力に対応しているか(妥当性)。
 - 学習者にやる気を起こさせるような切実な課題になっているか。(問題を考える意義)
 - 学習者が少し背伸びをすれば手が届く程度の課題になっているか。(レディネス)
 - ループリックは児童にも分かる言葉で書かれているか。

パフォーマンス課題 設計シート

小学校 (6) 年 単元名「 角柱と円柱の体積 」 全 (6) 時間

【本質的な問い（単元を貫く問い）】 ※たくさん挙げましょう。 (例) 体積はなぜ必要か。のように、「～とは何か?」「～するにはどうしたらよいか?」という書き方で。		【永続的理解（問いの答え）】 ※問いに対応して記入しましょう。 (例) 体積は容量を比べるために必要。	
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
【パフォーマンス課題】			
あなたは、2泊3日の旅行のために新しいキャリーケースを買ってもらうことになり、母親と話をしています。 母 親：「旅行に持っていく新しいキャリーケースはもう決めたの?」 あなた：「ショッピングサイトで、A、B、Cの3つを見つけたんだけど、どれがいいか迷ってる。」 母 親：「持っていく荷物が、ちゃんと収まる大きさは調べたの?」 あなた：「調べたよ。Aの説明には、『2泊3日分の荷物の量がしっかり入る』って書いてた。」 母 親：「Aはかわいいデザインだね。でも、丸くて置く場所に困るからやめたほうがいいんじゃない? BとCについても、どのくらいの荷物の量が入るか分からなければまだ決められないな・・・。」 あなた：「じゃあ、BとCのどちらかが、Aと同じくらいの量が入ることが分かればいいの?」 母 親：「そうだね。もしBかCが、Aと同じ『2泊3日分の荷物』が入ることが分かれば、それを買ってあげるよ。」 ※キャリーケースの寸法はサイトを活用して提示。			
6つの要素を満たすことが推奨されています。 足りない場合は補いましょう。			
目的(Goal) 学習者が何を達成すべきか、その学習の根本的な目的を明確にする。 (例)算数の知識を使って母を説得する。	状況(Situation) 学んだ知識や技能が活用される具体的な状況や文脈を設定する。(例)キャリーケースの容量を計算する際に、柱の体積を求める。	役割(Role) 学習者がどのような役割を担い、どのような状況を想定するかを定める。(例)ほしいキャリーケースを買ってもらう子ども。	成果物(Product) 学習活動の成果として、どのような作品や実演(生成物)が生み出されるのかを具体的に示す。(例)母への説明の式、値、言葉。ワークシートで。
相手(Audience) 対象となる相手が誰なのかを明確にし、実際のコミュニケーション場面を想定する。(例)キャリーケースの容量を気にする母	評価の観点(Standard, Criteria) 学習活動の成果として、どのような作品や実演が生み出されるのかを具体的に示す。(例)説明のための方針を立て正確に計算し分かりやすく説明できる。		
ループリック評価 ※はじめにBの基準を明確にすることが必要です。 ※最大3つの観点到に分けましょう。			
観点 レベル	どうやって解決するか (例) 問題発見・状況把握力 (どうやって求めるか)	正確に計算できるか (例) 数学的処理の正確さ (正確に計算できるか)	分かりやすい説明か (例) 論理的思考力・表現力 (分かりやすい説明か)
A 卓越 (B以上の成果)	問題文から解決に必要な情報を正確に読み取り、順序立てて解決方法を説明している。	角柱・円柱の体積の求め方を理解し、3つのキャリーケースの体積を、全て正確に求積している。	(Bに加え)Aのキャリーケースにはない形状の良さを付け加え提案している。
B 十分	問題文から解決に必要な情報を読み取り、解決の方向性を示している。	角柱・円柱の体積の求め方を理解し、2つのキャリーケースの体積を、正確に求積している。	AとB(またはAとC)のキャリーケースの体積を比較し、その結果を根拠にして、自分がほしいキャリーケースの容量が十分であることを論理的に説明している。
C 不十分	課題の読み取りができない。または、読み取りできたことを言語化できない。	1つのキャリーケースの体積を正確に求積している。または、3つとも求積できない。	数値的根拠に基づいた説明ができない。
【B評価模範解答】 ※B(十分)に相当するもの記入してください。観点到ごとに記入すると評価がしやすいです。			
<p><どうやって解決したらいいか> キャリーケースA、B、Cそれぞれの体積を求めて比べる。 <母親を納得させる説明> キャリーケースAの体積 $25 \times 25 \times 3.14 \times 18 = 35325 \text{ cm}^3$ キャリーケースBの体積 $18 \times 39 \times 50 = 35100 \text{ cm}^3$ だから、AとBの体積を比べてみると大きな差はない。 このことから、Bのキャリーケースにも2泊3日分の荷物が入るので、Bのキャリーケースを買ってほしい。</p>			